



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 加賀電子株式会社

コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 外茂久

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 下山 和一郎

TEL 03-4455-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	55,002	7.9	247	73.0	373	62.4	115	79.1
23年3月期第1四半期	59,692	10.4	916		993		552	

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 406百万円 (%) 23年3月期第1四半期 155百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.18	
23年3月期第1四半期	20.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	111,352	47,657	41.4
23年3月期	114,686	48,598	40.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 46,107百万円 23年3月期 46,934百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		15.00		15.00	30.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	8.7	100	96.1	400	84.9	150	89.4	5.44
通期	238,000	0.0	2,100	41.1	2,600	30.5	1,300	29.9	47.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	28,702,118 株	23年3月期	28,702,118 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	1,104,656 株	23年3月期	1,104,656 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	27,597,462 株	23年3月期1Q	27,598,187 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成24年3月期の配当の状況につきましては、本日(平成23年8月1日)発表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2 . サマリー情報（その他）に関する情報.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3 . 四半期連結財務諸表等.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では原油高によるエネルギー価格の上昇により個人消費が落込みを見せ始めるなど景気が減速し、加えて財政問題もあり、先行き不透明な状況にあります。欧州においては、EU加盟国における財政危機による景気への懸念があり、このような状況のなかで世界経済の牽引力であった、中国やインドなどの新興諸国においてもインフレ抑制策が実施され経済成長率が鈍化するなど、全体的に不安定のなかで減速傾向にて推移いたしました。

一方、わが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、期初は国内生産の落込みを受けて、輸出が大幅に減少し、また、電力不足問題や風評被害などにより個人消費も低下し、雇用状況も悪化するなど景気は停滞いたしました。最近では、政府の政策や企業努力によるサプライチェーンの復旧にともない、一部持ち直しの動きが見られますが、総じて低調に推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末などの需要に支えられた電子部品の需要が拡大傾向になりましたが、東日本大震災による工場被災により、部材や製品の調達および供給に影響が生じていました。しかし、復興の進捗とともに各メーカーの供給力が回復しつつあります。

かかる環境の中で、当社グループは、グループ全体の連携を強めながら、新商材の開拓やLED照明などの環境関連商品の拡販、取扱商品の充実などに努力してまいりましたが、東日本大震災による製品や部材の生産見送りの影響を受け、第1四半期連結累計期間における売上高は55,002百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益は247百万円（前年同四半期比73.0%減）、経常利益は373百万円（前年同四半期比62.4%減）となり、また、四半期純利益は115百万円（前年同四半期比79.1%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS^(注)などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、東日本大震災による製品、部材の生産減にともなう品不足を、いち早く顧客からの要望に応えるべく、調達ルートの確保に努力し、また、LED関連商品の拡販や海外におけるEMSビジネスの増強および中国ローカル企業への拡販など営業活動に注力してまいりました。しかしながら、震災の影響による生産調整や消費減速などの影響により車載関連および民生機器向け半導体や遊技機器向けEMSビジネスなどの受注が減少した結果、売上高は39,429百万円（前年同四半期比12.0%減）となり、セグメント利益は184百万円（前年同四半期比82.4%減）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

情報機器事業（パーソナルコンピュータ、PC周辺機器、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、東日本大震災により一部落込みが見られましたが、パーソナルコンピュータおよび周辺機器など既存商品の拡販や節電関連商品の需要増加および7月の地上アナログ放送終了にともなう地上デジタル放送チューナーの受注が増加した結果、売上高は12,547百万円（前年同四半期比7.1%増）となり、セグメント利益は54百万円（前年同四半期比545.1%増）となりました。

ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、コンピュータグラフィックスを活用した映像の制作やゲームソフトおよびアプリケーションソフトの企画・開発・販売に注力しておりますが、売上高は717百万円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期はセグメント損失229百万円）となりました。

その他（エレクトロニクス機器の修理・サポートやスポーツ用品の販売など）

アミューズメント関連機器（完成品）の販売が増加しましたが、東日本大震災の影響によるゴルフ用品の販売不振やエレクトロニクス機器のリサイクル関連事業などの受注が減少した結果、売上高は2,308百万円（前年同四半期比11.0%減）となり、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比90.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は111,352百万円（前連結会計年度比3,333百万円の減少）となりました。これは主に売掛債権の減少などによるものであります。

負債につきましては、63,694百万円（前連結会計年度比2,392百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少などによるものであります。

純資産につきましては、47,657百万円（前連結会計年度比940百万円の減少）となりました。これは主に保有する有価証券の時価変動に伴う、その他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	-	-	-	-	-
今回発表予想（B）	110,000	100	400	150	5.44
増減額（B）-（A）	-	-	-	-	-
増減率（％）	-	-	-	-	-
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成23年3月期第2四半期）	120,470	2,594	2,644	1,412	51.18

平成24年3月期通期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	-	-	-	-	-
今回発表予想（B）	238,000	2,100	2,600	1,300	47.11
増減額（B）-（A）	-	-	-	-	-
増減率（％）	-	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	237,951	3,563	3,738	1,854	67.20

業績予想の理由

今後の経営環境につきましては、東日本大震災の影響から徐々に回復し、生産活動が復活しはじめ、消費も増加するなど景気の持ち直しが期待されますが、円高による輸出の減速、雇用の低迷などの懸念材料もあり、予断を許さない状況が続くものと思われま。

このような環境の中で、平成24年3月期業績予想につきましては、当社グループに及ぼす東日本大震災の影響が不透明であったため、未定としておりましたが、当該影響を精査の上、上記の通り業績予想をお知らせいたします。

当社グループは、グループの連携によるシナジー効果の発揮に努め、既存商品の拡販や新規商材および商権獲得などにより取扱高の拡大をはかりながら、効率的な経営を推進してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,926	10,944
受取手形及び売掛金	54,173	50,896
有価証券	71	69
商品及び製品	15,775	17,809
仕掛品	555	674
原材料及び貯蔵品	3,189	3,301
繰延税金資産	975	935
その他	6,392	5,685
貸倒引当金	182	190
流動資産合計	92,876	90,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,494	2,408
機械装置及び運搬具(純額)	1,601	1,512
工具、器具及び備品(純額)	1,016	1,087
土地	4,099	4,099
建設仮勘定	511	487
有形固定資産合計	9,724	9,595
無形固定資産		
のれん	464	410
ソフトウェア	790	704
その他	1,344	1,319
無形固定資産合計	2,599	2,433
投資その他の資産		
投資有価証券	4,493	4,411
繰延税金資産	619	414
その他	6,000	5,973
貸倒引当金	1,627	1,602
投資その他の資産合計	9,485	9,196
固定資産合計	21,810	21,225
資産合計	114,686	111,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,790	39,333
短期借入金	8,505	9,759
未払法人税等	1,511	523
役員賞与引当金	138	104
その他	6,041	5,344
流動負債合計	56,987	55,065
固定負債		
長期借入金	4,636	4,182
退職給付引当金	1,556	1,561
役員退職慰労引当金	1,294	1,315
資産除去債務	226	227
その他	1,385	1,341
固定負債合計	9,099	8,628
負債合計	66,087	63,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	25,038	24,740
自己株式	1,332	1,332
株主資本合計	49,752	49,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	601
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	2,571	2,744
その他の包括利益累計額合計	2,817	3,346
新株予約権	0	0
少数株主持分	1,664	1,550
純資産合計	48,598	47,657
負債純資産合計	114,686	111,352

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	59,692	55,002
売上原価	51,900	47,954
売上総利益	7,792	7,047
販売費及び一般管理費	6,875	6,799
営業利益	916	247
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	31	38
受取手数料	50	48
その他	99	94
営業外収益合計	196	200
営業外費用		
支払利息	25	34
為替差損	55	16
その他	38	24
営業外費用合計	119	75
経常利益	993	373
特別利益		
固定資産売却益	1	3
受取補償金	140	-
子会社清算に伴う為替換算調整勘定整理益	109	-
その他	-	0
特別利益合計	250	3
特別損失		
固定資産除却損	10	3
投資有価証券評価損	90	32
減損損失	-	3
ゴルフ会員権評価損	-	16
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	-
その他	21	8
特別損失合計	160	64
税金等調整前四半期純利益	1,083	312
法人税、住民税及び事業税	386	223
法人税等調整額	127	33
法人税等合計	514	190
少数株主損益調整前四半期純利益	568	121
少数株主利益	16	6
四半期純利益	552	115
少数株主利益	16	6
少数株主損益調整前四半期純利益	568	121

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	354
繰延ヘッジ損益	26	0
為替換算調整勘定	518	172
その他の包括利益合計	724	528
四半期包括利益	155	406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164	412
少数株主に係る四半期包括利益	8	6

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子部品事業	情報機器事業	ソフトウェア 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,811	11,716	569	57,097	2,594	59,692
セグメント間の内部売上 高又は振替高	322	160	261	744	825	1,569
計	45,133	11,877	831	57,842	3,419	61,262
セグメント利益又は損失 ()	1,048	8	229	827	143	971

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	827
「その他」の区分の利益	143
セグメント間取引消去額	3
のれんの償却額	50
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	916

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電子部品事業	情報機器事業	ソフトウェア 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,429	12,547	717	52,693	2,308	55,002
セグメント間の内部売上 高又は振替高	336	159	704	1,199	348	1,548
計	39,765	12,706	1,421	53,893	2,656	56,550
セグメント利益	184	54	35	274	13	288

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツ事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	274
「その他」の区分の利益	13
セグメント間取引消去額	20
のれんの償却額	19
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	247

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。